

### 行仙宿巡回と笠捨山・旧通信道補修など

◇実施日：平成28年01月23日～24日

◇参加者：青木宏充、山口泰宏（23～24日）

梶野照雄（24日、日帰り）

計3名

### 01月23日(土) 晴のち雪

午前9時30分池原公園で山口さんと落ち合い 青木車でR4  
25へ

林道との分岐地点に駐車し補給路登山口下まで徒歩。11時3

0分行仙宿小屋着。途中の積雪は尾根の所で約5cm、風もなく外

気温4℃・晴れ。

昼食後 雪雲予報を山口さんがスマートフォンで見ると14  
時ぐらいに雲がきそうということで、旧通信道の補修は中止。

薪にする枯れ枝を集めることにした。 ほぼ予報通り14時ぐ

らいから雪が。

沖崎さんから『明日は大寒波との予報で中止』との連絡が入る。  
夕飯後、21時に就寝。



登り始める



小屋前に薄つすらと雪が



小屋内はマイナス一度

24(日) 朝5時前から山口さんがストーブに薪をくべている。  
聞けば「4時30分位から寒くて眠れない」とのこと。

小屋内温度；マイナス5℃、外はマイナス9℃。寒いわけだ。

青木は、ダウンの掛布団のお陰でぬくぬくと眠れた。

積雪は予想に反して少ない。 一晩で50cmぐらい積もると思っ  
たのに！

朝食後 通信道へ散歩に行こうか？ と山口さんからの提案が  
あったが、気温が全然上がらず提案を却下。

梶野さんに連絡したら、こっちに向かっているとのことなので  
小屋内で待機。小屋内でもマイナス1℃。

11時に梶野さん到着。作業後、昼食を食べ終え 3人でサク  
サクと雪道を下山。

R425も3か所ほど積雪・凍結があったが、問題なく通過。  
ノーマルタイヤでもOKなぐらいだ。

和佐又あたりから吉野町までかなりの道路積雪がある。

こちらは、スタッドレスタイヤでないとは運転不可。おかげで車  
数は、いつもよりかなり少ない。

時間的には、いつもと同じくらいで帰宅できた。

(記 青木)

### 01月24日(日) 雪のち時々晴

全国的に低温と降雪の予報が出ているので、スコップやタイヤ  
チェーン2組を積み込んで出発する。

五条経由で車を走らせるが、河内長野からうっすらと積雪があ  
り、国道169号上北山村の道の駅付近まで、ずっと路面は真っ  
白だった。



R169 吉野町内

川上村杉の湯付近

積雪した補給路登山口

新伯母峰トンネル付近では、積雪約15cmだったが、スコップやチェーンも必要なく、スムーズに走ることができた。

気温が低かったため、積もった雪が解けることなく乾燥した粉雪状態だったことが、良かったのかもしれない。

トンネルに入っすぐ山口さんから電話があるが、圏外になる。上北山村の道の駅を過ぎたところで、青木さんから現在地確認の電話があった。

前鬼口を過ぎると、路面は乾燥、太陽も顔を出しサングラスが欲しいくらいの天候になる。

国道425号もほぼ乾燥路面、日陰に積雪が残っているだけだった。気温が低いので、残っている雪や流れ出した水はすべて凍っている。

林道の入口に青木車が止まっている。ここから歩いたようだ。車で登山口に午前10時到着。補給路には5cm程積雪がある。第一ベンチでアイゼン装着。11時に行仙宿小屋に着いた。

すぐに、前回取り付け時に割れてしまったコンセントの交換を始める。10分足らずで交換終了。

お二人から昨日の状況を聞きながら昼食を摂る。



第二ベンチ手前の尾根径

白くなった傘捨山

佐田の辻・行者堂到着

昼食を終え、下山準備に取りかかる。積雪は少ないが、念のためアイゼンを装着して下る。

登山口に下山後、青木・山口両名を乗せて林道入口まで行き、二人は青木車に乗換え、スポーツ公園駐車場で各自帰路へ。



24日の参加者



小屋内の温度



小屋南側の奥駈道

山口さんは尾鷲で仕事があるとのこと、南に向かわれた。  
帰路も路面の積雪は、しっかり残っていた。融雪剤を散布しているのだが、気温が低いのと交通量が少ないので、融けるのが遅いようだった。

**01月24日(日) 行動タイム**

池原スポーツ公園 09:10→09:55 補給路登山口 10:00→11:00  
行仙小屋(コンセント取り替え・昼食)→12:30 下山開始→登山口  
13:00 ↓14:00 池原スポーツ公園(解散)。

(記 梶野)